

様式③

提出日 2021年 1月 22日

2020年度 琉球弧研究支援 報告書

研究テーマ「ユタとノロの関係性」

氏名：石川琉人 伊波翔雅 岸本由夏 當間緋奈乃 富永有里菜

所属学部学科：人文学部 こども文化学科

I. 初めに

沖縄県では、靈感などの特殊な能力を使って悩みを解決したり物事の判断をしたり、供養や除霊などを行う「ユタ」が存在する。実際、家庭内や仕事上の相談・元祖事（供養・位牌祭祀など祖先に関する事柄）のアドバイス・死霊供養や生霊などの邪霊の崇りの除霊などをしてほしいときに、県民の多くが相談をしに行くところである。一方で、「ユタ」と同じ役割を担っている「ノロ」の存在に気づき、「ユタ」と「ノロ」の違いについてどんな関係があるのか、また他に共通している部分はあるのか気になり、研究するに至った。

II. 研究の目的、動機

この研究を行うことで、県民の方たちやお年寄りが知っている「ユタ」の歴史やどんな役割をしているのかなどについてもっと若者たちにも知ってほしい。そして、「ユタ」だけではなく、「ノロ」についても同じように知ってもらい、「ユタ」と「ノロ」の違いについて少しでも分かってもらえたらいいなと思う。

III. 研究方法、地域、期間

まず「ユタ」とはどういった人でどういったことをしたら「ユタ」になることができるのかなどを調べるため、近隣の図書館や県立図書館へ行き、本や新聞を利用し、情報を集め、参考にできるよう資料を探した。また、調査を進めていくなかで「ユタ」として活躍している比嘉英子さんに話を伺う予定だったが、「研究での目的だと話をすることはできない。」と断られ、調べることはできなかったため本や雑誌を利用して情報を集めていった。さらに調べを進めていくと「ユタ」の他に「ノロ」という存在がいることに気づき、私たちの先輩である玉城航汰さんの家族が「ノロ」として現

在も活躍していることを知り、直接会って話を伺った。

IV. 結果

今回、「ユタ」として活躍している比嘉栄子さんに話を聞く予定だったが、話を聞くことはできなかったため「ユタ」に関する本の情報によると、「ユタ」とは、自己申告制で依頼者からお金を頂いて、心の平安に関わる霊的な問題についてアドバイスしたりする仕事を行っていることが分かった。そして、現在も活躍している玉城航汰さんのご家族の話を知り聞いたところ、「ノロ」とはボランティアで地域の人々や依頼者の祈願を一緒に行ったり、年中行事の祈願を行っていることが分かった。次に、「ユタ」と「ノロ」になるための修行の内容も全く違い、「ユタ」の修行内容は共通している部分と、それぞれの神の指示に従う修行があり、「ノロ」は世襲制でノロを受け継いでいる為、修行などは行っておらず、見よう見まねで覚えていき、「ノロ」になることが分かった。

V. 考察、分析

当初、「ユタ」を中心に調べを進めていく予定だったが、研究での目的では話をすることはできないと断られ、調査をすることが難しくなった。このことから、「ユタ」の仕事はとてもデリケートな仕事で、信頼関係を築けていないと話をするのはできないと考えた。また、相談を受けていると、他者との関わりや仕事の内容を理解してもらえないと感じたことから、話をすることはできないと断ったのではないかと思われた。人々は悩みや困ったことを「ユタ」に相談するが、しっかりと秘密を守ってくれると強く信じているのだと思われる。そして、「ユタ」も我々の調査を断ったのも秘密保持に関係するからだと考えられる。「ノロ」は最初名前が変わっただけで「ユタ」と同じような仕事内容なのではないかと思っていたが、玉城航汰さんの話を聞いたり、本やインターネットの情報を収集していくうちに、「ユタ」とは全く違うということが分かった。「ノロ」の存在について、なぜあまり知られていないのか考えた結果、「ノロ」は世襲制ということもあり「ユタ」よりも人数が限れているため世の中に浸透していないと考えた。また、「ノロ」の主な活動内容として、年中行事の祈願や依頼者の祈願を家で行うといった活動範囲が決まっているので、多くの人には知られていないのではないかと考えた。

VI. 今後の展望

今後の展望として、「ユタ」のことについては知っている人が多いので「ノロ」の存在についてもより多くの人に知ってもらうために、何か本を出版したり活動範囲を広げると知らなかった人が知る機会を、もっと増やすことができればと良いのかなと考えた。

VII. 終わりに

色々と「ノロ」について教えてくださった、玉城航汰さんやご家族の方に感謝申し上げますとともに、今後も「ノロ」の活動を継続し、頑張ってもらいたいと願っています。

VIII. 参考文献、調査協力

沖縄大学 卒業生 こども文化学科 玉城航汰さんご家族の方々

「神をさがす旅 ユタ神様とヘミシンク」 著者：山川健一

「ユタ神誕生」 著者：福 寛美

「神様に愛されて 自分らしく幸せになる」 著者：クレア

IX. 指導教員コメント

「ユタ」を調べようと出発しようとした研究であるg、「ユタ」の仕事の内容から断られたのは残念である。しかし、そこから、「ノロ」について視点を移して調査研究を進めたのは柔軟な対応で良かった。特に、「ノロ」の家計である玉城家での調査は「ノロ」の仕事や継承の問題についてまとめるうえでよく行われたと言える。